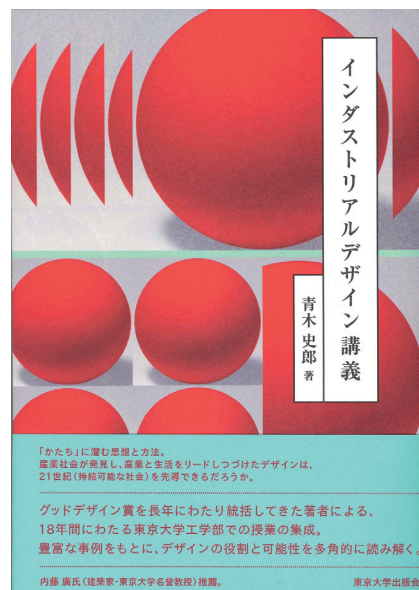


新刊「インダストリアルデザイン講義」のご案内

「グッドデザイン賞」を統括してきた著者が解き明かす産業とデザインの相関関係

グッドデザイン賞を主催する公益財団法人日本デザイン振興会（会長:川上元美）の常務理事を務める、青木史郎による著作「インダストリアルデザイン講義」がこのほど発刊されました。本書は、日本を代表するデザインの評価と推奨の運動であるグッドデザイン賞の運営に長年携わり、日本の産業とデザインの発展にリアルタイムで対峙して来た著者による、18年間にわたる東京大学工学部での授業の集成として、初の単著となります。デザインを、単に「かたち」をつくり提示することだけでなく、産業の発展の中で再発見され活用されてきた思想・方法論として、産業の発展に不可欠なものとして位置付け、実際のデザインの展開と具体的な応用事例、さらに歴史と思想までを包摂します。芸術や文化としてのデザインと、経済や産業としてのデザイン、双方の観点から社会におけるデザインのダイナミズムを解き明かします。



インダストリアルデザイン講義

著者：青木史郎

装丁：松下計・阿部文香

発行所：一般財団法人 東京大学出版会

体裁：A5判・並製・388ページ

価格：4,600円（本体）

ISBN 978-4-13-062839-6

本書のおもな構成

- 1 デザインの知・・・ 1 芸術・技術・デザイン 2 デザインのかたち
- 2 産業社会とデザイン・・・ 1 「デザイン」の誕生 2 「デザイナー」誕生 3 アメリカから日本へ 4 「商品デザイン」の完成 5 「デザインオリエンテッド」な商品づくり
- 3 日本企業とデザイン・・・ 1 インハウスデザイナーの仕事 2 「企業デザイン」の系譜
- 4 デザインの今日的課題・・・ 1 エコロジーデザイン 2 「人間中心」のデザイン 3 「経験」のデザイン 4 サステナブル・コミュニティ 5 適量生産・適正デザイン
- 5 21世紀のポイエシス・・・ 1 思考のミッシングリンク 2 夢なき時代の希望

インダストリアルノート 一事例・解説・思想

デザイン関連書籍紹介

著者紹介

青木 史郎 (あおき しろう)

公益財団法人 日本デザイン振興会 常務理事

1948年東京生まれ。1972年東京藝術大学美術学部芸術学科卒業、同年財団法人日本産業デザイン振興会(現:公益財団法人日本デザイン振興会)に入社。中小企業へのデザイン導入などデザイン振興政策の企画と実施を継続的に担当。1998年にはグッドデザイン賞の民営化に伴い制度をリニューアル。以降はグッドデザイン賞をはじめとするデザイン振興事業を統括して現在に至る。日本デザイン学会理事、芸術工学会監事、首都大学東京・産業技術大学院大学客員教授、東京大学工学部・東京藝術大学非常勤講師。



推薦文／内藤 廣氏 (建築家・東京大学名誉教授)

もし工学が人間生活に寄与するものであるのなら、実際にそれが製品としていかに活用されるかを扱うデザインは、本来は必須の教養であり基礎知識であるべきだと考えている。著者である青木史郎さんは、日曜品から産業機械や自動車、果ては建築や都市計画まで、年間3,000点を超える応募が集まるGマーク(グッドデザイン賞)を40年近く差配してきた。グッドデザイン賞の番人、ミスターGマークともいえる存在である。これから時代の先端を切り開きたいと考えている若者なら、東大での講義を下敷きにした本書を通して彼の指南を受けると大いに役立つはずである。

本書「インダストリアルデザイン講義」を書評紹介用などにご入用の方、表紙ならびに著者のビジュアルデータをご入用の方は、下記PR事務局までお問い合わせください。

この発表内容に関する報道関係者からのお問い合わせ先
共同PR株式会社 第4業務局 中里・宇津木・横山
TEL. 03-3571-5238 FAX.03-3571-5380